

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術 I - 2	単位 (授業時間/時間数)	1 (10/30)
開講年次	1 年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
<p>授業のねらい</p> <p>看護師は患者の安全・安楽の確保という重要な役割を担っており、安全確保の技術はあらゆる看護の領域において求められる基礎的能力のひとつである。適切な感染管理に基づいた感染防止のための基礎的知識・技術・態度を身につけさせたい。本単元では、患者・看護師双方の安全・安楽を考慮した看護を提供するために必要なスタンダードプリコーション・滅菌物の取り扱い・感染廃棄物の取り扱いなどの感染防止の技術を身につけることを目的とする。</p>					
<p>授業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染成立の条件および感染予防の目的を理解することができる 2. 標準予防策を学び、実践することができる 3. 洗浄・消毒・滅菌の実際について説明することができる 4. 感染性廃棄物の取り扱いについて学び、実践することができる 5. 無菌操作の基本について学び、実践することができる 					
<p>授業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染防止の基礎知識 2. 感染経路とその予防策 3. 標準予防策 4. 洗浄・消毒・滅菌 5. 無菌操作 6. 感染性廃棄物の取り扱い 					
<p>授業の進め方</p> <p>講義・演習</p>					
<p>教科書</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II (医学書院)</p> <p>看護技術プラクティス (学研)</p>					
<p>参考図書</p>					
<p>評価方法</p> <p>客観式テスト (40 点)、出席、演習の取り組み、課題、提出状況などを踏まえて総合的に評価する。試験時間は時間数に含む。</p>					

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術 I - 2	単位 (授業時間/時間数)	1 (10/30)
開講年次	1 年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	

授業のねらい

看護師は、おこりうる医療事故を防ぎ患者の安全・安楽を確保という重要な役割を担っている。安全確保の技術はあらゆる看護領域において求められる基礎的能力の一つである。本科目では医療の場における起こりやすい事故に対して、安全管理対策の必要性を理解し、管理技術を身につける。

授業目標

1. 安全確保の技術、基礎知識を理解することができる。
 - 1) 医療事故・医療過誤の意味を区別することができる。
 - 2) 安全を脅かす要因について述べることができる。
 - 3) 安全確保の方法を述べることができる。

授業概要

1. 安全確保の技術
 - 1) 安全確保の基礎知識
 - 2) 誤薬防止
 - 3) チューブ類の予定外抜去防止
 - 4) 患者誤認防止

授業の進め方

講義、グループワーク、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕 基礎看護技術 II (医学書院)
看護技術プラクティス (学研)

参考図書

ナーシンググラフィカ 医療安全 (メディカ出版)

配布資料

評価方法

客観式テスト+演習取り組み状況 (40 点)

試験時間は時間数に含む。

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術 I - 2	単位 (授業時間/時間数)	1 (8 / 30)
開講年次	1 年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校		
<p>授業のねらい</p> <p>創傷ケアにおいては、創が治癒過程のどの段階にあるのかを判断し、その治癒を円滑に進める創傷治癒環境を保つことが大切である。創傷とその治癒のメカニズムを知り、創傷処置の実際について学ぶ。その中でも包帯法の歴史は古く、治療や看護の技術としては最古のもののひとつであり、自らが回復しようとする力を支える重要な看護技術である。包帯法を実施する際は、患者の全身状態や患部の状態を把握し、部位や範囲、状況の変化を理解したうえで、包帯の種類や方法を選択する必要がある。演習を通して、創傷治癒過程を促進するための創傷管理技術を身につける。</p> <p>授業目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創傷治癒の過程を知り、褥瘡を含む創傷の予防や治癒促進への援助方法を理解することができる。 2. 包帯法の基礎知識を知り、巻軸帯や三角巾を用いた適切な援助ができる。 <p>授業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創傷管理技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創傷管理の基礎知識 2) 創傷処置の実際 3) 包帯法 4) 褥瘡の発生機序とリスクアセスメント 5) 褥瘡予防方法 					
<p>授業の進め方</p> <p>講義、演習</p>					
<p>教科書</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II (医学書院)</p> <p>看護技術プラクティス (学研)</p> <p>参考図書</p>					
<p>評価方法</p> <p>なし</p>					